



# 田村市立都路中学校 学校だより 第17号

令和6年7月26日（金）  
発行責任者：校長 佐藤 仁  
TEL：0247-75-2009

めざす生徒像：自らの志を語り、目標に向かって主体的に努力できる生徒

めざす学校像：志を育む学校 学び合い、高め合う学校 信頼され、愛される学校

## 夏休み前 全校集会

7月23日（火）、夏休み前の全校集会を行いました。生徒会長のY・Aさんが4月からの学校生活を振り返ったり、夏休みの過ごし方について、3年生や1、2年生にメッセージを送ったりしました。堂々とした発表でとても素敵でした。

### 【生徒会長 Y・Aさん】

今日は夏休み前のまとめの日です。これまでの活動として委員会活動や部活動などがありました。その中でも、特に大きな行事である前期生徒総会では、生徒会や各委員会、各部活動の役割や目標、活動内容を改めて見直し、より良い学校生活を築いていくために、全校生徒でしっかりと確認し合うことができました。そして、委員会や部活動の中で、今までの活動の継続だけではなく、新たな活動に挑戦したり、今までの活動の反省を生かし、もう一度見直しを行ったりした委員会や部活動もありました。そのおかげで、今までよりも一つ一つの物事や活動に対する生徒全体の意識が高まったと感じられます。



また、1年生にとっては初めての活動が多く大変なこともあったと思いますが、その分、様々な活動の中から大事なことをたくさん学ぶことができたと思います。

土曜日からは夏休みが始まります。私たち3年生にとっては中学校最後の夏休みとなります。休みの期間を有意義に活用することができるように、受験生らしく生活しましょう。また、毎日規則正しい生活を心がけ、生活リズムが崩れないように意識して過ごしていきましょう。

次は1、2年生へのお願いです。夏休み明けに生徒会役員選挙があるため、休み中に検討してほしいと思います。後期から生徒会執行部として「学校をより良くするために活動していきたい！」という意思のある1、2年生の立候補をお待ちしています。

夏休みが私自身を含めた全員にとって有意義な時間になり、より一層成長して夏休み明けに学校に集まれるように一日一日を大切に過ごしていきましょう。

### 【校長から】

夏休みが間近にせまってきました。人生百年時代と言われる現代から見れば、たかが30日とも言えるし、されど30日とも言えます。3年生にとっては中学校最後の夏休みとなり、一日一日がかけがえのない時間となるはずです。「夏休みにもっと努力しておけばよかった」と後悔することのないように、自分をしっかりとマネジメントしてください。1、2年生にとっても、テレビやゲーム、スマホなどの誘惑が普段よりも多い環境の中で、家庭学習に取り組むこととなります。だからこそ、自分を律し、我慢し、やりたいことの前には、やらなければならないことを優先した生活を送ってください。

また、普段よりも自由に使える時間が多い夏休みにこそ読書をして頭や心に栄養をたっぷりと蓄え、8月から始まる前期後半、そして10月からの後期に備えてください。しかし、最も優先すべきなのは、命です。自分の命はもとより、友達や周りの人の命も大切にしてください。特に、熱中症、交通事故、水の事故に遭わないように十分に注意してください。

夏休みを前に、皆さんに次のことばを送ります。

「過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる」

これは、カナダの精神科医であるエリック・バーンさんという人のことばです。確かに人は過去にとらわれ、後悔します。「あの時あーしていれば良かった...」、「あの時あんなこと言わなければよかった...」、「あんなことを言ってしまったけど、あの人は傷ついていなか...」など、後悔することが多いです。しかし、どれだけ後悔しても、どうあがいても過去を変えることはできません。自分のしたこと、言ってしまったことを変えることはできません。しかし、過去を後悔のままで終わらせるか、これからの未来のために活かすかで、人生は大きく変わってきます。過去から学び、これからの考えや行動を変える。変えられない過去を教訓にして、変えることができる未来を創り出すことができます。



皆さんに望むことは、「過去」、つまり昨年度までの夏休みや冬休みの過ごし方や今年度4月からの生活を振り返り、改善したい点、改善しなければならない点をはっきりさせて、「未来」である夏休みを過ごしてほしいということです。100%またはそれに近い達成感をもって夏休み明け、登校してほしいと思います。

過去を教訓に、未来をつくっていくことに加えて大切なことは、「行動」です。良い意味でも悪い意味でも、「行動がその人の考えを左右」します。ネガティブな考えをしている時でも、行動が前向きなら、いつの間にか前向きに物事を考えられるようになります。しかし落ち込んだまま何もせず部屋に閉じこもっていても、ますます落ち込んでしまいます。この夏休み、ネガティブな思いになることもあるでしょう。いつまでもそこにひきずられることなく、行動を変えて前向きになれるよう努力してください。

最後になりますが、皆さんのがんばりを支えているのは「健康な体」です。昭和の時代から「健全な精神は、健全な肉体に宿る」と言われているように、まずは健康な体が大切です。アントニオ猪木さんがよく言っていました「元気があれば何でもできる」。まさにその通りです。

元気があれば、過去を教訓に、未来を創っていこうという意欲がわきます。

元気があれば、マイナス思考をプラス思考に変えることができます。

元気の源は「早寝、早起き、朝ご飯」などの基本的な生活習慣です。基本的な生活習慣を徹底し、有意義な夏休みを過ごしてください。そして、8月26日元気に登校してください。皆さんが、事件・事故に巻き込まれることなく、健康第一で、充実した夏休みを過ごすことを願っています。

本日前期前半の最終日となりました。保護者の皆様には、様々な点で学校教育活動を支えていただきました。心より感謝申し上げます。明日から30日間の夏休みとなります。生徒の皆さんには「早寝・早起き・朝ご飯」などの基本的な生活習慣を大切に、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。アントニオ猪木さんの決まり文句「元気があれば何でもできる」のように、まずは健康第一です。健康第一で勉強に部活動に全力で取り組んでほしいと思います。ご家庭での声かけや励ましをお願いいたします。